

ナシ推奨品種候補「秋麗」の特性

「秋麗」は、「幸水」と「豊水」の間に収穫される中生の青ナシで、甘味が強く、やや香りがあり、食味が非常に良好である。無袋の果実は表面にサビが発生するが、有袋の果実より糖度が高く、食味が良いため、無袋栽培を実施する。

農業研究センター 果樹研究所 落葉果樹研究室（担当者：藤丸 治）

研究のねらい

熊本県のナシは、8月上旬～9月上旬にかけて「幸水」と「豊水」が出荷されている。その中で、盆明け後の8月中・下旬にかけては、標高の高い産地の「幸水」と、トンネルハウスの「豊水」が出荷されているが、盆明け後の「幸水」は価格が安く、トンネルハウスの「豊水」はみつ症や変形果が多発し、問題点が多い。そのため、この時期に成熟し、食味の良い品種を選定する。

研究成果

【来歴】

「秋麗」は、農林水産省果樹試験場（現（独）農研機構果樹研究所）で「幸水」に「筑水」を交配して育成され、ナシ第6回系統適応性・特性検定試験を経て、平成14年に品種登録された中生の青ナシ品種である。

1. 樹勢は「幸水」「豊水」よりやや弱く中程度で、短果枝は良く着生するが、あまり長く維持できない。腋花芽は「幸水」「豊水」より多く着生する（表1）。
2. 開花期は「幸水」より遅く、現在栽培されている推奨品種の中では最も遅い（表1）。
3. 収穫期は「幸水」の収穫が終わる8月中旬頃から、「豊水」の収穫が始まる8月下旬頃までで、露地栽培の「幸水」「豊水」のほぼ中間の時期になる（表1）。
4. 果実の大きさは「幸水」よりやや小さい程度で、玉揃いは良好である（表2）。
5. 果肉硬度は「幸水」より軟らかく「豊水」よりやや硬めで、食感は非常に良好である。やや香りがあり、糖度は「幸水」「豊水」より高く（表2）、甘味が非常に強く酸味は少ない。特に、無袋栽培の果実は糖度が非常に高い（図1）。
6. 日持ち性は「豊水」並みで、みつ症の発生はみられない。
7. 果実表面にサビが発生しやすい（写真）が、食味が良いため消費者の評価は非常に高い（図2）。
8. 黒斑病には抵抗性があり、通常の赤ナシの防除体系が適用できる。

普及上の留意点

1. 有袋栽培ではこの品種の最大の特徴である甘みが目立たないので、無袋栽培を実施する。
2. 「筑水」とは交雑不和合であり、またS遺伝子型から「あきづき」とも交雑不和合と考えられることから、これらの品種を受粉樹や人工受粉用花粉としては用いない。
3. 結実は良好であるが、樹勢は「幸水」よりやや弱いため、摘果を早めの実施し大玉生産を心掛ける。
4. 「豊水」の更新品種とし、露地「幸水」の直後、「あきづき」の前に収穫する品種として導入する。

表 1 樹体生育

品種名	樹勢	花芽の着生		開花期		収穫期	
		短果枝	腋花芽	始	終	始	終
秋麗	中	少	多	4/ 6	4/16	8/14	8/25
幸水	強	少	中	4/ 4	4/13	7/31	8/13
豊水	強	中	中	3/31	4/ 9	8/24	9/ 8

注)1997～1999年の平均値

表 2 果実品質

品種名	平均 果重 (g)	果肉硬度 (lbs)	糖度 (Brix)	pH	果形	果実の 揃い	みつ症 の発生
秋麗	321	3.1	14.0	5.14	扁円	良	なし
幸水	359	3.6	12.3	5.29	扁円	中	なし
豊水	474	2.2	12.8	4.74	円	中	多

注)1997～1999年の平均値

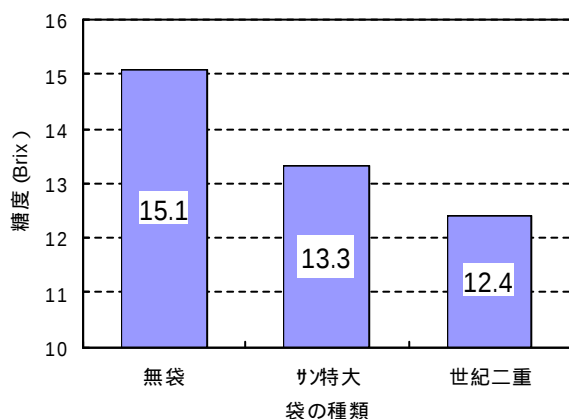
図 1 秋麗の無袋果と有袋果との糖度比較
(熊本果研 2004)

写真 「秋麗」無袋果の着果状態

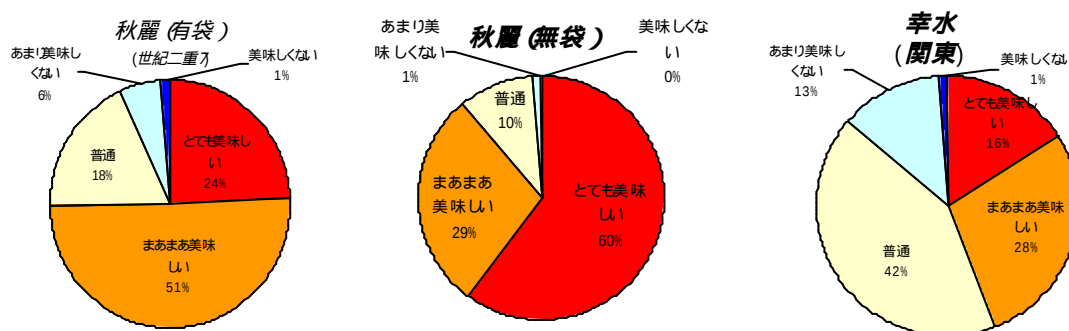


図 2 消費者アンケート調査結果 (2004.8.24: 東京都マルエツ西葛西店 回答者数102名)